

地域のみんなで「あさひっ子」を守り育てる旭市に

地域学校協働活動

旭市では、令和6年度から市内全小中学校にコミュニティー・スクールを導入しています。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と地域学校協働活動（本部）のイメージ

※ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動（本部）との関係は、クルマの両輪に例えて表すことができます。
右のタイヤを回す力は「やる気」「熱意」です。地域コーディネーターの調整力により目標に向けて
クルマを走らせます。

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え
地域を創成する活動

⇧

【学校の願い（校長の経営方針）】、【地域の願い】に沿った活動

コミュニティ・スクール

左タイヤ

校　長
（学校代表）

学校運営協
議会委員
（地域代表）

進行方向

連結部分
地域コーディネーター

学校運営協議会委員の一人でもあり「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動（本部）」を繋ぎ、左右両輪を「同じ回転方向」で「同じ速さ」で回し進行方向に前進させる重要な役割

地域学校協働活動（本部）

右タイヤ

地域住民
保護者・PTA
社会教育団体
文化・スポーツ団体
企業・NPO
その他団体

【取組紹介1】 富浦小コーディネーター（以下CN）、2年目の試み

【4月】第1回学校運営協議会で、協力団体の確保や連絡方法について意見交換の後、運営協議会委員を含む有志と協働活動グループラインを立ち上げました。

【5月】6年生の学習（総合「ぼく・わたしの未来」）の講師として、CNの経験した職業について語り、児童と活発なディスカッションを行いました。



【7月】「富浦っ子コミュニティー」の名称で、児童と保護者、地域住民との親睦・交流を目的に、協働活動グループラインメンバーで「パークゴルフ体験」を実施しました。



【11月】第2回学校運営協議会で、出席委員に「地域学校協働活動ボランティア」への登録を依頼し、その趣旨に賛同した多くの委員から申し込みをもらいました。

【2月】第3回学校運営協議会の後、都合のつくボランティア登録委員で「地域学校協働本部会議」を行い、令和8年度に向け、企画・運営のアイディアについての協議や他校の活動の様子についての情報共有を行いました。

みんなで支え　みんなで育て　みんなが育つ

【取組紹介2】 学校運営協議会と地域学校協働本部の連動を図る組織の工夫

飯岡小学校では「地域とともにある学校」を実現するための中核に「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体化」を位置づけ、「防災教育・幼小連携・地域のよさを生かした活動」に力を入れています。令和７年度は「地域と学校で育つ飯岡っ子～あいが連動した取組〈愛＆合い：～しあう〉」をスローガンに掲げました。

地域の願いを大切にした校長の経営方針



トリプルアイプロジェクト※1
による防災教室



園児と小学生の交流会



遊漁船乗船体験を通した
郷土の自然と地場産業の理解

※1 防災教育を推進する地域ボランティア団体

教職員・児童・保護者

**地域住民・団体・企業
事業所や商店など**

つなぐ
かかわる

地域コーディネーター

飯岡小学校運営協議会

- 飯岡地区社会福祉協議会長
- いいおか幼稚園長
- 区会長
- PTA 代表・PTA 役員 OB
- ライオンズクラブ代表
- トリプルアイプロジェクト代表
- 地域コーディネーター
- 校長
- 教頭

飯岡小地域学校協働本部※2

- 地域コーディネーター
- 教頭
- 飯岡地区社会福祉協議会
- いいおか幼稚園
- ひかり保育園
- 飯岡小 PTA
- 飯岡老人クラブ
- トリプルアイプロジェクト
- 旭地区更生保護女性会　　など


新たに実現した木工指導

※2 CN・教頭・地域団体の代表等が必要に応じて集まり、協働活動について協議・実践する体制のことです。

取組の特色	
	○防災や幼小交流、地場産業の理解など推進したい活動を想定して、若い世代を含む幅広い地域人材から学校運営協議会委員を選出しています。 ○地域によって協力可能な教育活動をリストアップし、積極的な実践につなげています。 ○地域コーディネーターの居場所が職員室内にあり、教職員との連携がよく取れています。 ○地域コーディネーターは協力者を探すだけでなく、事前の打ち合わせや当日の調整、振り返りなどにも関わり、活動の円滑化と改善に努めています。 ○学校だよりへの掲載と地域への回覧、ホームページへの掲載などを通して、地域と学校が協力して教育活動を推進している様子を、学校から積極的に発信しています。

お問い合わせ先　旭市役所４階　旭市教育委員会　生涯学習課　TEL０４７９－８５－８６２７
mail:syakyo@city.asahi.lg.jp
令和８年４月発行